

# 令和3年度認知症標語コンテスト 【こどもの部】 18歳以下

No.	作品	作品に込められた思い	年齢
1	どうしたと？ オール大村 見守り隊	近所のおじいさんが認知症だったのでよく声かけしていました。	12歳
2	明るく やさしく あいの手を	認知症の人が不安にならないようにと考えました。	10歳
3	支えあう オール大村 住みたいまち	認知症の人もみんなが安心して暮らせるまちになればという思いを込めて作りました。	13歳
4	知はカ 理解深めて 福祉のまちへ	認知症の正しい知識を身に付けて、快適に生活できるような町づくりをしていきたい。	15歳
5	わすれても あたたかい気持ちで 寄り添うよ	テレビなどでは、家族が認知症の人を差別しているような目で見ているようなものがあったけど、私からしたら祖父や祖母、父や母は面倒を見てくれているし、わがママを聞いてくれるから、認知症でも恩を返したいと思うから。	14歳
6	あなたがくれたぬくもりを 次はわたしがかえすから	テレビなどでは、家族が認知症の人を差別しているような目で見ているようなものがあったけど、私からしたら祖父や祖母、父や母は面倒を見てくれているし、わがママを聞いてくれるから、認知症でも恩を返したいと思うから。	14歳
7	認知もあいきょう 家族でよりそい 見守るよ 笑顔でね！	うちのおばあちゃん いつも、笑ってたおばあちゃんだったけど、怒りっぽくなったり、分からないこと言ったりけど、家族がいるから大丈夫。	12歳
8	大村で、おしゃべりしながら過ごそうよ	近所に住んでいるおじいちゃんとおばあちゃんへのメッセージです。	12歳
9	僕がパパの名前で呼ばれても 大好きなぼくのおばあちゃん	ぼくのことを覚えていないけれど、優しいぼくのおばあちゃんには変わらないので。	10歳
10	大事なきおく みんなで守ろうきえないように	自分のおばあちゃんが今、認知症になってきていて、「忘れたくない」と毎日言っているので、自分達ももっと忘れられない思い出やきおくを増やして消えていかないようにしたかったから。	15歳
11	大丈夫 あなたは 一人じゃない	たくさん症状が出てしまって、とても不安になった時でも絶対一人ではなくて、周りの人が支えてくれるという思いを込めました。	15歳
12	安心してね 思いはきっと心にある	思い出せなくなって言葉にするのが難しかったり、伝わりにくかったとしても、伝えたかった事や思いは心にあるから安心してねという思い。	15歳
13	理解から まずは知ろうよ 認知症	認知症の人のことを助けるには、まずは認知症について知り理解することが大切だということ。	15歳
14	安心してね 私が憶えているからね	大切なきおくを忘れてしまっても、私がかわりに憶えておくからねという思い。	15歳
15	悩んだら 気軽に相談 してほしい	介護に悩んだり疲れたりしたときに、その悩みを気軽に相談できて、少しでも気持ちを楽にしてほしいと思ったから。	16歳
16	僕のこと 思い出いっぱい 忘れても 大切なもの 心にあるよ	大切な思い出や自分のことを忘れてしまったり、それを聞いて悲しくなる人がいるかもしれない。頭では忘れてしまっているけど、心では覚えているから大丈夫だよ。	15歳
17	忘れても 帰りたくなる 我が故郷	認知症になり、記憶がなくなる、頭では覚えていなくても心や体では忘れられないような、大事な場所であってほしいと思いました。	15歳
18	支えるよ 自分らしく 歩めるように	自分らしく歩めるように支えたい思い。	16歳
19	大丈夫 心の中では いつまでも	自分の身の周りの人たちが認知症になったら、心の中では思い出などをいつまでも忘れないでほしいという思い。	15歳
20	大丈夫 町はあなたを 忘れない	認知症で大変な思いをしている方々と、大村市に住む私たちが助け合い、共生していく思いを込めました。	15歳
21	困ったら みんなで手助け 優しい町	みんなで助け合う優しい町になって欲しいと思い、この作品を考えました。	15歳
22	守りたい 大事な記憶と あなたの人權	認知症になった人が、その人にとって大切な記憶を忘れないように、認知症になってもその人の人權がうばわれることがないように、という思いを込めました。	15歳
23	たくさん声 かけあふれる 大村市	声かけが多くなると、認知症の人が一人で外を歩いているときに大村市の人から声をかけてもらい家にしっかり帰れたり助かることがあればいいなという思い。	16歳
24	寄り添って みんなで守ろう 暖かさ	暖かい雰囲気をみんなで守れたらいいなという思い。	15歳
25	大丈夫 私もあなたも 幸せだ	私だけでなく認知症の人も幸せだということを忘れないでほしいと思い作りました。	15歳

No.	作品	作品に込められた思い	年齢
26	どんな日も 強い心で 生きていこう	どんなに辛い時があっても心を強くして生活していけば、その辛い気持ちもいつかはなくなっていくんじゃないかと思い、この作品を書きました。	15歳
27	一人じゃない 周りでみんなが 支えている	認知症の方を周りから、支え、一人ではできないことも誰かが支えてあげればできることもあると思うので、みんなで支えていくことが大切だと思いました。	16歳
28	安心して暮らせる町づくり 作っていこう私たちの手で	認知症の方々はもちろん、高齢者や小さい子供が暮らせるように自分たちで町づくりを考えていきたいと思った。	15歳
29	あたたかい声かけ その一言で 心寄り添う	地域の方々や周りの人が認知症のことを理解し、一言声をかけることで認知症の方にもあたたかい町だと思ってもらい、みんなが認知症の方に寄り添える町を作っていこうという思い。	16歳
30	「つなげよう」人・町・笑顔と命の輪	認知症の人にも新しい世界が広がるようにということと、次の世代、またその次の世代までもが笑顔の絶えない町へとなるようにと思考しました。	16歳
31	認知症 一番大事 理解から	認知症のことについて、世界の人々が深く理解することがとても大切で、認知症について理解することでこの先必ず役に立てる	15歳
32	みんなで寄り添い助け合う	認知症は一人ではどうにもできないから、いろんな人が助け合えば認知症の人達も安心して暮らせると思います。	15歳
33	にっこりと あなたに寄り添い 支えるね	認知症をしっかり理解し、大村市全体で笑顔で支えていくことが大切だと思ったからです。	15歳
34	助け合い 笑顔あふれる 大村市	認知症の方もそうでない方も助け合って笑顔あふれる温かい大村になってほしい。	17歳
35	咲き誇る 笑顔・やさしさ ありがとうの花	花のまちである大村で笑顔の花と優しさの花、ありがとうの花が満開になればあたたかみのあるまちになるのかなと思ったから。助け合い感謝の気持ちも伝え合えるようになってほしいから。	17歳
36	「住みやすい」 私も家族も 地元愛	地域みんなが助け合って声かけが出来るような町だと、認知症の方も安心できると思うし、家族も「外出しやすい」と感じ、「あ～住みやすい！」と感じれる町になるともっともっと良くなると思ったからです。生活していく中で「大村が一番住みやすい」と感じれる町になればいいなと思いました。	18歳
37	「一緒に」と その一声だけで ニッコリに	きっと、認知症の方は、不安を感じながら生活していると思います。だから顔も暗くなってしまうので、町のみんなが、「一緒にやってみましょう！」や「一緒に行きましょう」「一緒に手伝えることはありますか？」と、その一声で、一人じゃないんだと安心できて、みんなが笑顔になれる町にしたいです。	18歳
38	支えたい 私になります 人間杖	認知症の人には、援助が必要でまず自分が認知症について理解し、いざという時に支えたいと思ったから。	17歳
39	理解する その気持ちが 大きな一歩	まずは認知症について理解することで接し方などがわかり、理解しようという気持ちが大事だから。	17歳
40	何度でも あなたの話 聞かせてよ	認知症の方がどんな話を何度したとしても、私たちは相手の話を受けとめる。だから、支えあって共に生きていこうよという思いを込めました。また、認知症の方が困っていた時、最初は怖いと思うかもしれないけど、私たちはあなたの力になりたい。だからどんな話でもいいから、話を聞かせてという思いも込めました。	17歳
41	支え合い 共に生きよう この大村(まち)で	大村は優しく理解してくれる方が多いです。認知症の方でも安心して過ごせるよ、大村で全員で支え合い、一緒に楽しく生きていこうというメッセージを伝えたいと思い、この標語を作りました。どんな人であっても、大村で一緒に過ごしませんかと伝えたいです。	17歳
42	頼ってね 何年経っても 味方だよ	認知症などの精神的な病気で苦しんでいる人たちは本当に苦しいと思ったから。そして、一人で抱え込まずにいつでも頼ってほしいという思い。	17歳
43	好きなこと 一緒になって 楽しもう	好きなことを一緒にやることで、息抜きにもなると思ったから。そして、話も盛り上がり、笑顔が増えて欲しいという思い。	17歳
44	落ち着いて 見守ってるから 大丈夫	認知症の方は、普段できていたことが、だんだんできなくなってしまいます。できなくなったことで不安や焦りがあると、周りが見えなくなってしまうと思うので、一回落ち着いて、安心してほしいという思いを込めました。また、大村人は、道を歩いているだけで話しかけてくれる優しい人が多いので、「見守っている」と伝えたいと思いました。	17歳

No.	作品	作品に込められた思い	年齢
45	できないを できたにかえる 助け合い	できないことが少しずつ多くなり、自信を無くしてしまわないように、周りの人が助け合いながら、「成功」に導いて「できない」ではなく、「できた」に変えたいと思いました。大村人は、道を歩いているだけで声をかけてくれたり、知らない人でも応援してくれる優しい人が多いので、大村人みんなで助け合いながら認知症の方に勇気をあたえたいです。	17歳
46	大丈夫 みんな味方 大村市	認知症になってしまって、人に迷惑を掛けたくないなどと思い悩んでいる人を助けたいと思っている。	17歳
47	認知症 その人らしく すればいい	認知症だから特別に扱われることなく、その人が自由に暮らせればいいと思った。	17歳
48	認知症 目をそらさずに 助けよう	認知症の方が困っていたら、その人から目をそらさずに助ける人が増えて欲しい。	18歳
49	認知症 差別しないで 絶対に	認知症でも普通の人だから、絶対に差別はしないでほしい。	18歳
50	辛いのは 周りじゃなくてその本人 考えてみて認知症	認知症の人を介護するのは大変で辛いと思うかもしれないし、何も知らない人からしたら、何この人となるかもしれないけど、一番辛いのは本人だから、認知症についても一度考えてみて欲しいという思い。	18歳
51	認知症 なんだそれ？で終わらない 増やしていこう知識の輪	認知症のことを詳しく知らない人が、知ろうと思ってくれるようにしたいという思い。	18歳
52	接するときは 三つの「ない」 これ大事	認知症の人と接するときは、1驚かせない、2急がせない、3自尊心を傷つけないことを意識することで住みやすくなると思うから。	18歳
53	認知症 その単語だけで 身構えない	認知症の人がいたら、ジロジロ見たりしないで見守り、困っているようなら他の人と変わらず優しく笑顔で接することが一番の支援になると思うから。	18歳
54	声かけで 命と思い出 守る街	声かけ一つで認知症の方が危なくなる前に止めることができるし、少しでも話をする事で思い出話とかを話してもらえたりと、楽しく誰もが過ごせる大村がいいと思って書きました。	18歳
55	見かけたら 大きな声で こんにちは	私は人見知りで話しかける行為が少し苦手です。でも、挨拶なら恥ずかしくないし、むしろ会話のきっかけができると思うからこれを書きました。	18歳
56	忘れても 心の愛は 生きている	家族や自分の名前を忘れても、心の中の愛情は消えることなく生きている！！	12歳
57	笑顔でね 見守ってあげる 認知症	認知症は、その人がなりたくてなっているわけじゃないから、優しく見守ってあげるといい。	13歳
58	認知症 でも あなたの冷たさは分かる	認知症の方だからといって、差別したり、馬鹿にしてはいけないと思った。	11歳
59	高れい者 みんななかよく 住める日本	高れい者が住みやすい日本になるように。	12歳
60	認知症 仲良くらし 話そうね	仲良くらし、みんなと一緒に話し、もっと仲良く楽しくらせるように。	11歳
61	おばあちゃんに わすれられても 会う話す	わすれられても、くいが残らないようにするため。	11歳
62	「あなただれ？」 わすれられても 家族だよ	家族のだれかにわすれられても、自分は家族だよという気持ちをわすれないように。	12歳
63	お年寄り 仲良く楽しく 共に話そう	子供からお年寄りまで仲良く話し合う。	11歳
64	認知症 わすれられたら きづくよ たすける力 やさしい 思い	認知症になった人に忘れられて気づいたけど、助けるやさしい思い。	12歳
65	お年寄り みんな一緒に助けあう 優しいことを大切にしよう大村の町	お年寄りの人や学校の人になったとき、みんなと一緒に助けあうこと。	11歳
66	たすけあい みんな笑顔で 接しよう	みんなで認知症の方達を笑顔で接すれば、認知症の方達も笑顔になると思ったからです。	11歳
67	お年寄りにも 優しく楽しく接しよう	だれにでも、優しく楽しく接するため。	11歳
68	認知症 一緒に話そう 楽しんで	認知症で忘れられても、一緒に話したら、認知症でも楽しめるように。	11歳
69	認知症 しかたないけど 戦おう	認知症にかかるのはしょうがないけど、がんばってねと思って書きました。	11歳
70	その手こそ 助けるわざわい 仲良く共に	みんなの手が人を助ける手になるといい、ケンカもない、仲良しの町にしようという思い。	11歳

No.	作品	作品に込められた思い	年齢
71	お年寄り 人の手もかり がんばろう	「ねこの手も借りたい」ということわざをヒントにして、「人の手も借りたい」ということわざをつりました。認知症の人は、おわりせず人の手も借りて、生きてほしいです。	12歳
72	認知症でも 長く生きよう 一つの命	認知症の人でも、長く生きられるように。	11歳
73	お年寄り みんなといっしょに 助け合おう	お年寄りから幅広い世代と一緒に助けあえる大村にしたいという思いがつまっています。	12歳
74	大村市 共に助け合い 優しい町	みんなで助け合って、大村市がもっと優しい町にしたい。	11歳
75	認知症 忘れられても お見まいへ	家族などが認知症にかかって、自分が忘れられても気にしないでお見まいに行く。	11歳
76	思いやり みんな笑顔な 大村市	みんな思いやりをもって、みんな笑顔であふれる大村市になったらいいなと思ったからです。	12歳
77	認知症の人でも仲良したり わからなくても楽しく話そう	認知症の人でも仲良したり、わからなくても楽しく話そうと込めた思い。	11歳
78	一言で 笑顔でなれる お年寄り	若い人が一言声を掛ければ、笑顔になれるかもしれないから。	11歳
79	お年寄り 認知症でも がんばろう	お年寄りが認知症になっても、みんなで一緒にがんばってほしいという思い。	11歳
80	おとしよりと 仲良くなるう	認知症をがんばって助け合おう。	11歳
81	おとしより やさしいところで 助け合う	おとしよりがいつでも笑顔でいれるとおもうから。	11歳
82	認知症 共に助け合う 共同社会	認知症など関係なく、共に助けて安心させる共同社会を作りたいという思いでかきました。	11歳
83	すきなもの 生きてるうちに 食べてよう	たくさん好きな物を食べてほしい。自由にしてほしい。	12歳
84	認知症 わるぎはないよ やさしくね	認知症は、病気であって、わざとしてるのではないのに、いらいらしたりする人がいるので、おさえて、わるぎはないんだから、やさしくしなくちゃとおもったから。	11歳
85	じいちゃんに わすれられる前に 思い出を	もうおじいちゃんが認知症になっていて、認知症だとわかったときに、もう思い出は作れないから、みんなは先に思い出を作っておいてほしいなと思った。	12歳
86	認知症 助け合うこと 大事だね	助け合うことで、認知症の人でも住みやすくなるから。	11歳
87	認知症 責めずにやさしく 接しよう	イライラすることもあるかもしれないけど、やさしく接してほしいと思ったから。	11歳
88	助け合い 病気と向き合う 少しずつ	少しずつでも症状が軽くなったり、人生これからだという気持ちにさせたい。	11歳
89	認知症なんて 気にせず 仲良しに	認知症に苦しんでいる人もいるから、気にせず接するとういと思ったから。	12歳
90	この国で いっぱい笑って 生きよう認知症	いろんな人を忘れないで、いろんな人としゃべって笑おうという意味。	12歳
91	認知症 助ける人は やさしい人	認知症になると、なにもかもわすれてしまうため、助ける人は心が広い人。	11歳
92	ぼくたちは そのひとたちを たすけたい	たすけたいから。	11歳
93	差別なく みんな笑顔の 大村市	認知症の人にもでも差別なく、優しく接することのできる人がたくさん大村にいて、大村中が笑顔になるという思い。	12歳
94	みんなでなくそう バリアフリー	認知症の方への思いやり。	12歳
95	認知症 理解し合って 助けよう	認知症の人のことを理解して、みんなで認知症の人を助けようという思い。	12歳
96	にんちしょう さべつをしない にほんじん	日本人はしょうがいしゃや、にんちしょうをさべつしないという思い。	12歳
97	何もかもわすれても、二人にはきずながあるから大じょうぶ。	たとえ、何もかもわすれたとしても、わすれられたとしても、二人にはふかいきずながあるから心配なくていい。	11歳
98	認知症 わすれてもまた 思い出そう	認知症になってわすれてしまっても、いっしょに思い出してほしいという気持ちがこめられているから。	12歳
99	いじめがなく みんな優しい 大村市	みんなと少しちがうだけでいじめをせず、だれとでも仲良く優しくする。	11歳
100	認知症 助け合いのわを つなごうよ	認知症の人とも助け合いのわを、つなごうと思ったからです。	12歳
101	大切な 人をわすれる 認知症	おじいちゃんとかが認知症になったら、悲しいなと思って作った。	11歳

No.	作品	作品に込められた思い	年齢
102	わすれずに 覚えていよう 全員を	もし認知症になっても家族や身近な人は覚えていてほしいという思い。	12歳
103	支え合い 認知症を 理解しよう	支え合いながらも、認知症を理解していこうという思い。	12歳
104	治安のよい だれもがらせる 愛のまち	認知症がある人でも治安のよい、住みやすい暮らしができるようにという思いでつくりました。	11歳
105	認知症 ともにくらすよ この街で	認知症の人でも家族も安心して笑顔で楽しくくらすてもらいたい。	11歳
106	だれにでも 優しくしよう ふだんから	ふだんから、差別やへん見をせずに、やさしくする。そしたら、自然と安心できて、みんなが住み続けられる。という思いを込めました。	11歳
107	理解しよう なんてどうして 言わないよ	認知症の方も、自分がなぜそんな行動をしているのか、分からなくなるから強く言わずに、理解することが大事だと思ったから。	11歳
108	一人だけ 認知症でも だいじょうぶ	一人だけでも、くしまなくてもだいじょうぶという意味。	11歳
109	町中で たすけあいの輪 広げよう	認知症や障がいのある人を、町中のみんながたすけてくれる町が、一番認知症の人が住みやすいと思ったからです。	11歳
110	平等に 暮らす幸せ わすれずに	みんな1人1人大切な人だから、幸せをわすれないようにしよう。	12歳
111	助け合おう みんなの力で 元気にね	みんなで助け合い、認知症の人だけでなく、いろんな人が元気に暮らせる大村になってほしいから。	12歳
112	大丈夫 元気に生きよう 自分らしく	認知症になっても、自分らしく生きることにはできる。お年寄りに元気に生きてほしいと思いました。	12歳
113	認知症 誰でも仲良く 平等に	認知症の人だけ仲間外れにしたら、誰もが悲しむから、辛い思いをしないように。	11歳
114	認知症 みんなで助ける 大村市	認知症の人でも助け合って、幸せにくらせるよという思い。	11歳
115	忘れても 支えて暮らす この街で	みんながすみやすい街になるように書いた。	11歳
116	困ってる？ 気付けるアンテナ 高くハレ	認知症の人が困ってるのに気付けるように、広い視野と声をかけられる勇気を持ちたいと思う気持ちが込められています。	12歳
117	見守る目 差し出す手には 寄り添う心	認知症の方に、寄り添う心を込めました。	10歳
118	<small>にんちしょう</small> 認知症 みんなやさしく ささえよう	わすれるのは、こわいだろうし、ふあんになるかもしれないから、みんな(市)でささえようと思ったからです。	9歳
119	だれとでも やさしく元気 いっしょに	みんなが元気に助け合いながらいっしょに住むこと。	9歳
120	にんちしょう くらしを守る 市のかつどう	にんちしょうの人をたすける。みんなが力をあわせてたすける。	10歳
121	ぼくたちは いい人いっぱい あんしんだ	認知症の人がいつでも安心にくらせるといいなあーとおもったから。	10歳
122	認知症標語について知ろう	にんちしょうについて、知ってほしい。	10歳
123	がんばって 大むらにすめる	がんばる	9歳
124	まちがえてやっても おこらずに やさしくいってあげる	自分のおじいちゃんやおばあちゃんになったばあいで、かんがえた。	9歳
125	手伝いか なやみを聞いて 助けよう	わすれた物やわすれたことにいらつかないで、いっしょになやみをかいつけてわらってくらす。	9歳
126	大村は ずっとえがおな ところです	けんかをしてもすぐ仲なおりする。大村市。	10歳
127	大村市 家族の笑顔 あふれてる	大村市に住む認知症の方やそうでない方まで、みんな笑顔になったらいいなと思って書きました。	10歳
128	あたらしい みんなくらすよ このまちに	かわいそうなおばあちゃんが、かわいそうです。	9歳
129	おこらない いつもにこにこ やさしくね	なんでもおこらないで、やさしくえがおで。	9歳
130	認知症 きづかなくても おこらない	にんちしょうにきづかなくても考えて、すぐにおこらない。	10歳
131	認知症の人にやさしくする。	いろんな人に、やさしくしたいから。	9歳
132	大村は どんな人とも 楽しくくらせる	認知症の人でも安心して、みんなが楽しくくらせるように。	10歳
133	おおむらは えがおいっぱい 楽しいよ	おおむらにはえがおいっぱい、しんせつな人がいるよと、込められていると思います。	10歳
134	認知症でもくらせる だれでもくらせる 大村市へ	だれがいてもトラブルもおきない、みんなにやさしくできる大村市になってほしい。	10歳
135	助けあいのある市	いろんな人にやさしくしたい。	10歳

No.	作品	作品に込められた思い	年齢
136	やさしさをみんなで分け合い助け合う	やさしさを、みんなで分け合って助け合えたらいいな。	9歳
137	りかいして みんなえがおで 仲よくね	みんな仲よくする。	10歳
138	人にあうような気持ちになるように	人がいやがらないように。	10歳
139	だれでもが ふつうにくらす 大村市	どんな人でも、くふうしてみんなふつうに楽しくくらす大村。	9歳
140	認知症 みんなで助けて 安心な町へ	認知症になった人も安心する大村市にしよう！	9歳
141	<small>おおむら</small> 大村は <small>たの</small> すごくえがおで 楽しいよ	えがおいっぱいの大村。	10歳
142	こまってる ことがあったら ささえよう	こまっていたりしたときに、ささえあげてほしい。	9歳
143	認知症 その人の気持ち よりそおう	認知症のその人の気持ちによりそい、いっしょに考えてあげる。	10歳
144	住みやすい 人を思って くらそうよ	人のことを大切にする。	10歳
145	かんたんに、すでにたなやいろんなのに、 なまえがかかっている家	わからなくなったら、なまえがかいてあるから、かんたんにすごせます。	10歳
146	にんちしょう おばあちゃん やさしくね	にんちしょうのおばあちゃんにやさしくしてねといういみ。	10歳
147	みんなが 住める やさしいおおむら	どんなしょうがいや、びょうきの人でも住めるようにと思いました。	10歳
148	みんなでにんちしょうについてべんきょうしよう	にんちしょうの人をみんなでサポートしてあげないといけないから。	9歳
149	助け合い みんなかがやけ この町を	みんなが助け合い認知症の人でも個せいがあるから、この大村をみんなでかがやかせてほしい。	9歳
150	美しい えがおでいっぱいの市	みんなえがおで、いっぱいになって、だれもがしあわせになるって思い。	9歳
151	たすけたい こまっている人	こまっているひとをたすけたい。	10歳
152	大村市 よりそっていく 町にする	にんちしょうによりそうことをこめた。	9歳
153	にんちしょうでも分かりやすい印やあんないや地図	にんちしょうで分からない人のためにやる大切な思いです。	9歳
154	大じょうぶ あいさつするよ わたしから	大じょうぶです。ふあんであいさつしづらくても、わたしからあいさつします。	9歳
155	認知しょう どんなひとでも たすけ合い	どんな認知しょうのひとでも助け合います。	10歳
156	にんちしょう みんなで守る おおむらし	みんなでにんちしょうになる人を守るため書きました。	9歳
157	認知症 脳の病気に気をつけて	日常生活全般をわすれるから。	9歳
158	にんちしょう みんながんばる おおむらし	みんなががんばる、大村市。	9歳
159	にんちしょう まわりのひとが たすけるよ	なやんだりこまったりしても、まわりの人がたすけてくれるという思い。	9歳
160	わすれても だれでもいるよ こえかけて	何でもわすれても、だれでもいるから、こえかけてという思いを込めました。	9歳
161	わすれても 助けてくれる 安心だ	いろんなことをわすれても、きっとだれかが助けてくれるという思いから。	9歳
162	にんちしょう わかってあげてね たいへんさ	にんちしょうのたいへんさをかんがえてほしい。	9歳
163	にんちしょう すみやすいばしょ 大村市	にんちしょうのひとがこまらないように。	9歳
164	認知症 支えてあげる 自分から	認知症の人にみんながやさしくすればいいなと思って、作りました。	10歳
165	にんちしょう みんなを助ける おおむら市	にんちしょうの人をたすけるため。	9歳
166	おおむらは やさしいことば かけあうよ	おおむらはやさしい人がいて、やさしいことばをかけあって、みんなとなかよくできるよ。	9歳
167	認知症 こまったときは 助けるよ！	認知症の人がこまっているときにむししたら、大変なことになるから。	9歳
168	認知症 みんなでささええる 心のわ	認知症でもみんなでささえれば、心のわができるという思いです。	10歳
169	認知症の人を守るおおむら	認知症の人にきつい思いをさせたくない。	9歳
170	にんちしょう たすけてあげよう ぼくもたすける	記載なし	9歳
171	みな笑顔 つられて笑顔に 大村市	大村市は、みんな笑顔でにんちしょうの人もつられて笑顔になり、楽しくすごせるという思いです。	10歳
172	わすれても みんな助ける 大村市	いろんなことをわすれても、みんなで助けるからあんしんしてほしい思い。	9歳

No.	作品	作品に込められた思い	年齢
173	にんちしょう たすけてあげる わたしから	にんちしょうで店のルールや信号のルールをわすれてしまっているかたがいるから、それを見た人はほっとかずに「このルールはこうですよ。このルールはこうですよ。」とおしえる。	9歳
174	大村で こまっていたら たすけるよ	にんちしょうの人がこまっていたら、いつでもたすけたい。	9歳
175	認知症 みんなでつなぐ ボランティア	認知症の人たちを助けてみんなが笑顔がいっぱいあって、ボランティアができる大村にしたい。	10歳
176	にんちしょう みなで住みたい 大村市	みんなに住もうよ大村市	10歳
177	こまったら そうだんしてね たすけるよ	にんちしょうでこまっているなら、そうだんしてくれたらたすけられるかもしれない。	10歳
178	認知症 助けてあげるよ 自分から	認知症になった人を助けるため。	9歳
179	にんちしょう ころをつなぐ ひとつのわ	おおむらしてにんちしょうの人がいても、心はつながっている。	10歳
180	認知症 こわいけれども 大丈夫	認知症はこわいけど、おおむらにすれば大丈夫だよ。	9歳
181	にんちしょう みんななかよく ささえあう	にんちしょうをバカにしない。	9歳
182	おおむらし たすけあうのが あたりまえ	大村市が助け合うのが、あたりまえになるように。	9歳
183	にんちしょう つらいけど がんばろう	人をたすけたい。	9歳
184	おおむらし みんなでつなぐ ころのわ	大村市のひとたちみんなが助けあおうという気持ち。にんちしょうの人を助けようという思い。	9歳
185	おおむらし にんちしょうが すむところ	にんちしょうの人たちがおおむらにくるように。	10歳
186	だれにでも 笑顔にするよ 大丈夫	大丈夫と声をかけて、ふ安にしないようにする。	10歳
187	にんちしょう ひとりひとりが わすれるな	にんちしょうになっても、物忘れをしない。	9歳
188	料理を作ってあげて 食べさせる	料理をすこしでも、にんちしょうの人におぼえてほしい。	未記入
189	にんちしょう たいへんだから 助けよう	にんちしょうは家族だけだと大変だから、ボランティアで助けよう。	未記入
190	にんちしょう たすけてあげる いつまでも	にんちしょうにかかった人がかわいそうだからたすけてあげる。	未記入
191	にんちしょう やさしくすると 友達だ	にんちしょうの人は、だれにでもやさしくすると、友達みたいになるからです。	未記入
192	にんちしょう かかってしまったら 助けるよ	にんちしょうは、とてもあぶない病気だからこそ助ける。	未記入
193	助けながら いっしょにいて 見守ろう	認知症の人を助けていっしょにいなから見守る。	未記入
194	やさしさと きびしいときを わすれずに	やさしいときはやさしく、きびしいときはきびしい思いをわすれない心を持つという意味。	未記入
195	にんちしょう さべつはだめだ やさしくね	にんちしょうのひとにもふつうの人とおなじくらいやさしくする。	未記入
196	にんちしょう やさしさ あふれる人たちよ	認知症になっている人に、やさしさをおしえてあげる。	未記入
197	あたたかく やさしく見守る 認知症の人を	認知症の人を、やさしく見守れば、楽になれると思ったから。	未記入
198	にんちしょう 差別はだめよ やさしくね	にんちしょうの人がさべつをされないように、だれにでもやさしくしてあげてと言う思い。	未記入
199	みんなでき やさしく認知症の人を助けよう	みんなでき認知症の人を助ける。	未記入
200	たすけたい にんちしょうの人を 心から	にんちしょうの人がこまっていたら、たすけたい。	未記入
201	認知症 助けてあげる いつまでも	認知症の人を悲しませたくない。	未記入
202	おとなりで しっかり見てて 認知症	認知症の人がかっ手に行動しないように見守って。	未記入
203	みんなでき 認知症のため 協力だ	みんなと協力しあって、認知症の方のお手伝いをする。	未記入
204	お手伝い こまった時は 助けるよ	お手伝いもするし、こまった時には、助けてあげます。	未記入
205	あそぼうよ ボール遊び 楽しいな	にんちしょうの人と いっしょに遊んで、たのしいなと思ってほしい。	未記入
206	やさしくね みんなやさしく だれにでも	認知症の人。女、男かんけいなくやさしくするという思い。	未記入
207	認知症の人をたすけてあげる	だんじょかんけいなく、みんなでき認知症の人をたすける。	未記入
208	プレゼント 何でもいいよ 何がほしい	プレゼントをわたしたら、わる口や、ぼうりょくをふるわなくなるかもしれない。	未記入

No.	作品	作品に込められた思い	年齢
209	いつまでも やさしくするよ 見守るよ	認知症の人をいつまでもやさしく見守りたい。	未記入
210	認知症 さべつはしない きまりだよ	認知症は、いつどこでなるか分からないから、さべつはしない。	未記入
211	がんばろう 助けあおうよ 大村市	認知症の人が大村市にすみやすいようにする思い。	未記入
212	にんちしょうの人にやさしく教えてあげよう	にんちしょうの人にもやさしく教えてあげたい。	未記入
213	にんちしょうの 人にやさしく してあげて	にんちしょうで、わすれた人の手伝いをしてね。	未記入
214	助けよう 認知症になった人を	みんなで認知症になった人を助けたら、ひどくならずにすむかもしれないから。	未記入
215	認知症 元気にさせる いつまでも	にんちしょうのひとを元気にさせたい。	未記入
216	にんちしょう さべつしない 楽しい道へ	にんちしょうでさべつする人じゃなくて、楽しい道に行こう。	未記入
217	おいしいよ わたしが作って食べさせたい	認知症の人に料理を食べさせたい。	未記入
218	好きな物 いっぱい見つけてプレゼント	好きな物があれば、認知症の人でも楽しくすごせて、楽しい人生になると思うから。	未記入
219	私達 助けてあげるよ 楽しんで	私達が助けてあげるから楽しい人生になってほしいです。	未記入
220	見まもるよ やさしくたのしく いつまでも	いつもいっしょにいて楽しく遊んだり、はなしたりすること。いつもいっしょにいてあげる。	未記入
221	手伝うよ やさしく見守るよ	認知症の人をやさしく見守ってあげないと、いつ何がおきるかわからないから。	未記入
222	見守るよ いっしょに行こう 手伝うよ	にんちしょうの人たちが、らんぼうにしないように見守って、にんちしょうがよくなるように手伝う。そのためにいっしょに行く。	未記入
223	案内し 認知症の人を助けよう みんなでね	認知症の人は道にまよってしまうから、案内して、認知症の人をみんなで助ける。	未記入
224	たのしいな しょうがっこう がんばろう	学校は友達とあそべる思い。	10歳
225	覚えてね 私の名前 笑顔でね	私の名前をわすれても、覚えたり、写真をみせて、これを見て覚えて笑顔になってほしい。	10歳
226	わすれたら みんなの写真を みせようよ	わすれるようになっていたら、みんなで写真をみせてあげたい思い。	9歳
227	だいじょうぶ 家族がいつも そばにいる	認知症になっても、温かい家族で思いだしてほしい。	9歳
228	わすれない じぶんのなまえ たいせつに	じぶんのなまえをわすれたくない思い。	9歳
229	だいじょうぶ そばにいるから がんばろう	だいじょうぶだよ。そばにいるからいっしょにがんばろうという思い。	9歳
230	かぞくには えがおたくさん しあわせに	ごはんやかいもの、りょこうで、えがおたくさんで、しあわせの思い。	10歳
231	わすれても おもいだして がんばって	わすれてることがたくさんあるけど、がんばって思いだしてという思い。	10歳
232	にんちしょう 共に生きよう ぐらしのわ	私のおばあちゃんにはんちしょうです。会えなくてもいつも思い出します。	10歳
233	だれでも笑顔になれる大村市	思い出を見せて少しでも思い出してほしい。	10歳
234	おそくても みんながいえを 思いだそう	認知症にあったかぞくに、わすれられないように。	9歳
235	そばにいる 認知症は 悲しいな	そばにいたら認知症はとてまかない思い。	10歳
236	がんばろう えがおいっぱい さいごまで	がんばってさいごまであきらめずにさいごまでと、思いがこめられた作品です。	9歳
237	わすれても またつろうよ おもいでを	わすれてしまったことや、まだあるおもいでを、またつろうよという思い。	10歳
238	おもいで おもいだして むげんに ららく	おおむらを使って考えました。にんちしょうの人が住めるような町になったらいいなと思いました。	9歳
239	大じょうぶ 見守るからさ がんばろう	安心してほしい、わすれても、「がんばろう」と声をかける思い。	9歳
240	だいじょうぶ わすれていても そばにいる	わすれていたことを、少しでも思い出してほしいという思い。	10歳
241	そばにいる えがおはだいじ わすれない	わすれたりすることはあるけど、落ちこまないで、えがおおいてほしい。	9歳
242	がんばって ためいきつかず やさしくね	なにもわからないわけじゃないから、またいつかおもいだしてくれるかもしれないから、あきらめずやさしくおしえよう。	9歳
243	思い出を 話してみよう 楽しくね	思い出を話してみよう楽しくなるよということを作品にこめました。	10歳
244	かなしいな おもいだしてよ ぼくのこと	自分がその人に思いだしてほしい。	10歳



No.	作品	作品に込められた思い	年齢
245	がんばれよ じぶんのために わすれるな	わすれてしまうかもしれないけれど、そこであきらめないでがんばっていこう。	9歳
246	かぞく 友だち たいせつに	かぞくや友だちがわたしをわすれたら自分もいやなきもちになるし、わすれてしまった人もかなしくなるから、みんなをたいせつにする。	9歳
247	だいじょうぶ おちこまないで そばにいる	認知症になった人に、こんなことばをかけてあげれば自分も相手の人がわかるだろうとこめられた思い。	10歳
248	そばにいる おちこまないで がんばろう	そばにいるから、おちこまないでいっしょにがんばろうという元気になるような思い。	9歳
249	名前をもう一度よんでほしいからはなしかけよう	名前をよんでもらったらうれしいから。	9歳
250	だいじょうぶ そばにいるから 安心してね	わすれてしまってきられてないか、ふあんになってほしくない。という思い。	10歳
251	だいじょうぶ またつくろうよ おもいでを	おもいでをわすれても、もう一回つくろうよということ。	9歳
252	だいじょうぶ そばにいるから あきらめないで	安心してなんでもできそうな思い。	9歳
253	だいじょうぶ そばにいる がんばろう	わすれられても、いっしょにくらすから、いっしょにがんばろうという思い。	9歳
254	大切な人に 親切な行動を	わすれても、教えてあげるよ、親切な思いで。	10歳
255	かぞくには えがおであおう たのしくね	家族には笑顔で会うという思い。	9歳
256	みまもるよ あなたのそばで わすれない	認知症標語で、ふあんな人に安心してほしい思いだから。	9歳
257	わすれても ずっといっしょ だからいい	わすれても、まだいっしょにいれるから、安心してうれしいから。	10歳
258	わすれても おもいだそうよ おなまえを	名前をわすれていても、一生けん命おもいだしてほしいから。	9歳
259	にんちしょうになっても がんばろう	にんちしょうになっても、やる事をがんばれば生活できると思います。	9歳
260	認知症 支える人も 無理はせず	認知症の人でも大変だけど、その人を支える人も無理はせず、頑張してほしいから。	14歳
261	認知症 なってからも 笑顔でね	認知症になっても変わらずに、笑顔でいてねという意味を込めて作りました。	13歳
262	毎日を 笑顔で過ごそう 認知症	認知症だからと言って差別せず、みんな笑顔で過ごしてほしいから。	13歳
263	理解して みんなで支える 認知症	認知症はだれでもなる可能性があるので、みんな理解をしっかりと、支えていきたいからです。	14歳
264	認知症 手を取り合って 助けましょう	認知症になってしまうのはしかたないから、周りのみんなで助け合わないといけないという思いです。	13歳
265	認め合い かよわせる心 今そこに	皆が認め合い、心を一つにして、未来へと継ぐ。	13歳
266	認知症 笑顔で生きる 見守ろう	認知症になってもがんばって笑顔で生きているから、みんなで見守ろうと思ったから。	14歳
267	理解から 親交おすぶ 認知症	私の祖母も、認知症で、もっと認知症でも仲よくなれたかなとおもったから。	13歳
268	認知症 これから一緒に 頑張ろう	おばあちゃんももしもなってしまったら、と考えたら、私は一人にしないで、一緒に頑張りたいという気持ちをこめてつくりました。	14歳
269	認知症 みんなで優しく 理解する	少しでも認知症の人たちが、嫌な気持ちにならないでほしいし、少しでも理解してほしいから。	14歳
270	町全体 みんなで守る 認知症	町の人たちが、みんなを守ろうと、しようという思い。	13歳
271	認知症 支えあう心 大切に	今はたまにニュースでよく見る認知症の方をほうちするなどありますが、この町ではちゃんとみんなが認知症の方たちを大切にしてほしいという願いで書きました。	13歳
272	認知症 身じかなものだが 大切だ	認知症になったことがない人は、バカにしたりするかもしれないけれど、認知症はまた原点から進むことができる。短い時間をまだまだ進めるということ。	13歳
273	認知症 みんなで支え 助け合おう	自分になっても助けて欲しいし、そのときは、みんなで支え合いながらがいいから。	13歳
274	認知症 みんなで支える 笑顔のために	もしも、身内の人などが認知症になってしまってもたくさんの笑顔を見れるように支えていきたい。	13歳
275	認知症 僕らの愛で 助けよう	地域の人たちで、認知症の人たちを助けたい。	13歳

No.	作品	作品に込められた思い	年齢
276	認知症 みんなで助け合い 明るい社会	認知症の人をみんなで助け合えば、明るい社会がおとずれると思うから書きました。認知症は誰でもなるから助け合えばいいと思います。	13歳
277	見守ろう みんなでやさしく 認知症	認知症の方にやさしくと思い、書きました。	13歳
278	認知症 みんなの愛が 心の支え	認知症の人は小さなことを忘れて、人のことも忘れてという多くのことを忘れてしまうため、「何でこんなことに」となるかもしれないと思いました。そこで、どんなに忘れてもみんなからの愛があれば、その愛が「はげまし」に変わって幸せにくらせるという思い。	13歳
279	認知症 みんなの理解 いちはやく	認知症の人がぐらしやすいように、認知症の理解をしてほしい。	13歳
280	支え合い 笑顔で守ろう 認知症	認知症の人も、みんな笑顔で見守ってほしい。	14歳
281	誰もがね なる確率は 0ではない	誰もが認知症になる確率は0ではないから、みんなで支え、差別をしないようにしようという思い。	14歳
282	認知症 みんなで支える 元気の輪	認知症をせめずに、みんなで元気に支えようという思いを込めました。	14歳
283	支え合い 町を楽しく 認知症	認知症になってもみんなで支え合い、町をもっと楽しくする。	13歳
284	向かい合い 支えていこうよ 認知症	いつ誰が認知症になるのかわからない。もし、身近な人がなったら、しっかり向かい合い、支えていきたい！という思い。	14歳
285	認知症 みんなで理解し 守ろうよ	認知症のことをみんな理解して、認知症の人を守りたいと思ったから。	14歳
286	認知症 温かい心で 助けあおう	みんな温かく助け合ってほしい。	13歳
287	認知症 人から人へ 支える世界	認知症を一人で支えるのではなく、世界のみんなで支えられる世界になってほしいので、この作品を作りました。	14歳
288	温かい手 守る生活 認知症	いろんな人が差し伸べる温かい手で、認知症の人の生活を守ってほしいと思った。	13歳
289	暖かな 心で守る 認知症	認知症はほとんどの人がかかる病気なので、助け合っていきたいから。	14歳
290	認知症 一緒に支える 和を作ろう	誰でも認知症の人を支え合う和を作って、認知症の人を支えるようになってほしい。	13歳
291	支え合い 優しく見守る 認知症	認知症の方を優しく見守りながらも、支えて愛情をそそぎ、地域や周りの人の理解も得られるように社会も変わってほしいから。	14歳
292	認知症 思い出消えてく 支えよう	認知症の方はたくさんの楽しい思い出が消えて、かなしいだろうから、みんなで支え、また新たに思い出を作ろうという意味。	13歳
293	認知症 地域で支える 優しい心	認知症の方を地域の中で優しい心を広めて、助け合って、支え合っていきたいと思ったからです。	13歳
294	まいごにならないように 声かけるよ	まいごのとしよりが、すくなくなるように。	11歳
295	認知症 大事な家族は わすれない	認知症になって、いろいろな事をわすれていっても大事な家族の事だけはわすれない。	12歳
296	気付いたら 声をかけよう 助け合おう	気付いたら声をかけあって助け合えば、認知症の人も安心すると思ったから。	12歳
297	認知症 みんなで助け 支え合い	認知症になってもみんなで助け支え合えば、差別が少なくなる。	11歳
298	認知症 認めてあげよう その人を	未記入	
299	支え合う 貴方のために 大きな愛	認知症の人のために、大きな愛を持ち、支え合うということ。	12歳
300	忘れても 心は同じ 認知症	忘れていても心は同じという思い。	12歳
301	困ってたら すぐにかかけよう 助け合おう	困っているとき、パニックになるけどすぐにかかけよう、助け合うことでとても元気になるし、うれしいから。	
302	見かけたら きがるに声かけ 助け合い	認知症でも、心が通じればわかり合える。	11歳
303	支えあい きがるに声かけ 笑顔でね	笑顔できがるに、声をかけてあげると気が楽にちよつとなるかなと思ったから。	11歳
304	一人でも 声をかければ 笑顔だよ	一人だけでも声をかけると、認知症のかたも声をかけた人も、笑顔になれるという思い。	12歳
305	支え合い 助け合いの輪 つなげよう	認知症や他の病気の人にも、困っていたら皆で支え合って、助け合いの輪を、1人1人がつなげていって、おおきな輪を作っていけばいいと思いました。	11歳

No.	作品	作品に込められた思い	年齢
306	支え合い 気づいていこう 認知症	みんなで支え合って、その人を助けるといった思いを込めました。	11歳
307	こころから てをさしのべる ぼくたちに	思いやりの行動をとれる人。	12歳
308	認知症 助け合う心 愛こめて	認知症の人に愛をこめて、せっしてほしかったから。	11歳
309	認知症 市民みんなで 支えよう	市民や周りの人みんなで認知症の人を支えられる大村市にしたい。	12歳
310	認知症 みかけたらすぐに たすける	認知症の人をみかけたら、すぐにたすけたいから。	11歳
311	たすけあう 人と人で みんなで	人と人、みんなとともに助け合って生きていこう。	11歳
312	認知症 みんな対応 やさしい子	未記入	11歳
313	困ったら すぐに手助け みんなの手	困った事があっても、周りの人たちがおしえたり助けあう。	12歳
314	みんながあいさつ積極的に 安心・安全 町づくり	みんながあいさつを積極的にすることで印象がついて、わすれにくくなって行方不明者になってしまった人や他の人が安心して安全にらせるようにしたいと思った。	12歳
315	笑顔いっぱい 楽しい町づくり	いつでも話しやすい、話しかけやすい町がいいと思ったから。	12歳
316	勇気を出して 声かけを みんなやさしい仲良しな町	私は勇気を出して声かけがなかなかできないので、私もみんなも勇気を出して声かけをし、みんながやさしく仲良しな町にしていきたいと思いました。	11歳
317	元気にあいさつ みんなが楽しく ふれあう町づくり	認知症の方が楽しく接する町になってほしい。	11歳
318	声をかけ しんせつにせしよう	もし認知症のお年寄りを見つけたら、勇気を持って声をかけて、しんせつにせせれるといいなあと思ったから。	11歳
319	お年より こまっていそうだ 声かけよう	お年よりがこまっていそうだったら、声をかけて認知症の人でも安心できる町にしていきたい。	11歳
320	こまっていたら 声をかける	認知症の人を町の人みんなでささえる。	11歳
321	認知症 勇気を持って ふれあおう	人が困っていたら勇気を持って、声かけをしようという思い。	12歳
322	みんなが笑顔で やさしい町づくり	やさしい町を作ると、みんなで声かけができるから。	11歳
323	みんなで声かけをする	人がこまっている人に、声かけをしておしえる。	12歳
324	みな安全で楽しい町作り	安全で楽しくなってほしい。	11歳
325	1人1人が助けあい 明るく豊かなおおむらへ	認知症の人たちを助けあい、おおむらが明るくなり、豊かなおおむらになるように。	11歳
326	みんなであいさつ 楽しい町づくり	みんな仲よくできる。	12歳
327	みんながやさしい 平和な町づくり	大村をやさしさであふれた平和な町にしたいから。	12歳
328	もの忘れ ご近所さんに 聞いてよね	もの忘れをした認知症の方に、ものを忘れたときは、あるていど覚えていることを言って忘れたことを思いだしてほしいという思い。	11歳
329	みんなの えがおいっぱい シャベリやすい	えがおがいっぱいだから、シャベリやすいからです。	12歳
330	みんなであいさつ ご近所さんの顔を覚えよう	ご近所さんに認知症の方が居たとき、うろろしているのを見かけた時に、「〇〇さんがうろろしている」と正確な情報を言えるから。	12歳
331	みんなにあいさつ ご近所さんにもやさしく	ご近所さんにもやさしくしていくと、なかよくなるしあいさつがあるといろんなひとからも、かえてもらえてもっとなかがふかまるから。	11歳
332	交番の場所 わすれても ち図みればすぐ分かる	交番をわすれても、ち図を見れば場所が分かるから。	11歳
333	力を合わせて 安心できる場所へ	大村市のみんなで力を合わせていって、認知症の人でも、どんな人でも安心してらせる大村市になるといいなと思います。	11歳
334	お年よりの方が 幸せにらせる町	お年よりの方が、いやなおもいをしない。	11歳
335	みんなで声かけ やさしいあいさつ	やさしく声をかけて、やさしいあいさつをしてほしいという思いを込めました。	11歳
336	病人の人に 手をさしのべる やさしい人	優しくあげたい。	11歳
337	見つけたら すぐにたすける えがおでね	えがおでたすけたら、そのひとはおちつくし、うれしい気持ちになるから。	11歳
338	認知症 困っていたら 助けよう	認知症の人がいて困っていたら、声をかけて助けよう。	11歳
339	認知症 支え合って 生きていく	1人じゃできないことがあるから、みんなで支え合って生きていってほしいから。	12歳

No.	作品	作品に込められた思い	年齢
340	笑顔から 伝わる元気 広げよう	笑顔から伝わる元気を、みんなに広げる。	11歳
341	「こんにちは」 普段の会話で 助け合い	こんにちは。とか普段で使う言葉で話しかけて、様子がおかしかったらその人を助けてあげるなど、ささいな会話で認知症の人を助けてあげる。助け合いができる町になるといいなという思いです。	12歳
342	認知症 世代超えても 助け合い	いくら歳がはなれていても、助けてあげれるようになるといい。	12歳
343	気づいたら みてみぬふりせず たすけよう	気づいたら、みてみぬふりしないでたすけてほしいから。	12歳
344	認知症 助け合えば 大丈夫	認知症の人も、まわりの人たちが、助け合えば、大丈夫だから。	12歳
345	あたたかい やさしい町の おおむらへ	だれにでもあたたかく、みんながやさしい町にしたいから。	12歳